

○氏名：宮原 道寿 (Michihisa Miyahara)

○会員番号：PE0174

○登録州：North Carolina

○Discipline：Chemical

2009 Silver Comet Half Marathon,
Atlanta, GA にて



【はじめに】

PE0174 宮原と申します。JSPE には2004 年からJoin させてもらっていたのですが、会員の皆様と直接お会いする機会がなかなか作れないまま今日に至ってしまいました。さらに昨年からは再度の米国生活が始まってしまったため、ますます、直接お会いする機会をつくるのが難しい状況になってしまったのですが、この紙面をお借りして改めてご挨拶させていただきます。

私の場合は、Engineering Education が認められない（無い）状況でPE 登録しました。このようなケースは若干特殊かもしれませんが、以下の私の登録体験記の中に少しでも皆様のお役に立つ情報が含まれているようならば幸いです。

【PE 登録までのHistory】

1991～1994 年：

大学卒業後入社した化学会社で米国での化学プラントの建設プロジェクトに関わることになり、このときに米国のPE 制度を知りました。このプロジェクトで、後のPE 登録でお世話になったT. Provost氏と知り合いました。

- 1996 年：

技術駐在員として米国の関連会社に赴任し、この会社の増産工事のプロジェクトに関わることになりました。このときにPE を目指すきっかけを与えてくれて、また後のPE 登録でも非常にお世話になったもう一人のPE、T. Chambers 氏と知り合いました。

- 1998 年：

Chambers 氏の勧めでNC 州にFE & PE 試験の申請をしました。このときは日本の大学のEducation であってもある程度の業務経験年数があるので最悪でもFE 試験までは受けられるものと甘く考えていました。
→ 当時のNC Board の指定審査機関（ECEI？当時の審査機関の名前を忘れてしまいましたが）にEducationのEvaluation を申請したところ、工学部ではないので審査が出来ない旨のレターを受領（門前払い）。

- 1999 年：

仕方が無いので、とにかく申請書を出してみると、案の定、Education の証明を求められました。外国（日本）の大学卒であること、Board の指定審査機関にはすでにEvaluation をお願いしたが工学部では無いために審査すらしてもらえなかった旨を説明しましたが、大学教育はもちろん、高校教育についても認定出来ないため申請は受けられないとのつれない連絡でした。

→ Chambers 氏にこの状況を話したところ、この門前払いのような対応に怒り、**Board に推薦の letter を書いてくれた結果、Hearing を受けられることになりました。このHearing の結果、経験年数のみでもFE 試験については受験できることになり、さらにあと4 年間の適正な業務経験（米国外の場合はPE の監督下で実施される業務）を積みばPE 試験の受験も可能とのLetter をもらうことができました。**

→ 10 月にNC 州にてFE 試験を受験して、結果、無事合格しました。が、この合格結果の連絡をもらう前に日本に帰国することになってしまいました。

- 2002～2006 年：

海外業務からも完全に離れてしまい、なかなか適正な業務経験が積めない状態が続きました。この間にJSPE の存在を知って入会（2004 年）しました。入会后、他州でのPE 試験の受験も考えましたが、申請に必要な工学教育の証明を得ることがなかなか難しいと判断して断念しました。この間に、技術士、および、APEC Engineer の受験と登録を行ないました。

- 2007 年：

再び米国でのプロジェクトに関与する機会を得ました。

- 2008 年4 月：

丁度、この時期に日本でもPE 試験が受けられるようになったことを知り、一步でも前進しようと日本でPE 試験受験して合格しました。（今考えれば、もう少し待っていればアメリカでも受験できたのですが、このときは米国にまた赴任することになるうとは思っていませんでした。また、PE の試験結果に有効期限があることを知らずに受験してしまい、合格しておけばいつでもPE 登録が出来るつもりでいたので、合格してから一定期間内に登録しないと結果が無効になることを知ってから少し焦りました。）

8 月

米国に赴任（正確には2009 年4 月までは長期出張）し、米国のエンジニアリング会社にオーナー側の技術者の立場で駐在することになりました。このタイミングでNC 州にPE の申請を行いました。

12 月

申請書受理の連絡が無いため、1 回目の問合せを行ないました。Education の証明書類が不備だと言われたため、昔のNC Board からのLetter を送付して説明しました。

→ その後、申請手続き開始のはがきを受領しました。

- 2009 年2 月

連絡が無いため、2 回目の問合せを行ないました。Education とNCEEC の証明書の2 点が不備でStopしているとのことだったので、もう一度これらの説明を行いました。

5 月

連絡が無いため、3 回目の問合せを実施しました。NCEES からの試験結果の証明書が無いため手続きがStop しているとの返事でした。（最初、自分はBoard がNCEES に連絡して記録を確認するものと思っていたのでNo Action でしたが、**試験結果は自分からNCEES に連絡しないとBoard に送ってこない**ので注意してください。NCEES の担当者は非常に親切で、連絡するとすぐに対応してくれました。）

6 月

Board から業務経験の確認を求める連絡がありました。Reference の一人であるProvost 氏との関係を聞かれたため、彼にletter を書いてもらってこれをBoard に送付しました。

7 月

Board よりPE 登録が完了した旨の連絡！

8 月

Wall Certificate が届きました。

